

福島県高付加価値産地展開支援事業 高付加価値産地計画

(承認年月日 令和 3 年 1 0 月 1 3 日)

1 目的

福島県高付加価値産地展開支援事業実施要綱及び実施要領に基づき、県が作成した福島県高付加価値産地展開支援事業実施方針（以下「実施方針」という。）を踏まえ、原子力被災 12 市町村（以下「被災 12 市町村」という。）の営農再開の加速化に向け、マーケットインの発想の下で広域的に生産から加工までが一体となった産地を創出するため、産出額目標、対象とする品目、目指す産地の姿、具体的な取組、役割分担等を高付加価値産地協議会（以下「協議会」という。）の構成員で共有しながら取組を推進する行動計画として、本計画を策定する。

2 目標

実施方針を踏まえ、本計画の 4（各部門の取組）に掲げる取組を実施することにより、農業産出額及び加工品等製品出荷額を 8 0 億円増加させる。ただし、農業産出額については比較する基準年度を令和元年度とする。

部 門	令和 7 年度	令和 12 年度
土地利用型作物	6.5 億円の増加	21.5 億円の増加
園芸品目	11.4 億円の増加	38.1 億円の増加
畜産	6.1 億円の増加	20.4 億円の増加
合 計	24.0 億円の増加	80.0 億円の増加

3 取組を実施する産地の範囲

対象地域は、被災 12 市町村内とする。

4 各部門の取組

(1) 土地利用型作物

ア 対象品目

米等

イ 目指す産地の姿

○ 平坦部を中心とする地域においては、米消費が減少している中でも消費者の生活様式の変化等により需要が拡大している分野をターゲットとして、無菌包装米飯（パックライス）や中食・外食用の米等を実需者に対して長期契約等により安定的に供給する産地を目指す。

- 中山間部においては、有機栽培米等を実需者の求めに応じて長期契約等により安定的に供給する産地を目指す。
- 産地化に当たっては、既存の乾燥・調整・貯蔵施設等の広域的な利用を図りつつ、営農再開の拡大と需要に応じた生産に必要な穀類乾燥調製貯蔵施設等の共同利用施設や集出荷施設の整備を進め、GAPやHACCPの推進による品質・衛生管理や加工業者の誘致による地域内での付加価値の創出を図る。

ウ 拠点となる事業者の機能

- 生産拡大機能
 - ・実需者との有利な販売条件を形成し、農業者へ魅力ある購入条件を提供する。
 - ・生産に必要な種苗の供給、市町村を越えた集荷や仕入れ等により、農業者が生産に取り組みやすい状況を提供する。
 - ・実需者が求める品種・品質や量を農業者へ提示する。
 - ・米の事前契約、複数年契約等により、農業者と安定的な取引を行う。
- 実需者ニーズ対応機能
 - ・マーケットのニーズがある無菌包装米飯への加工等により、米の販売価値を高め産地の形成につなげる。
 - ・米を広域的に集荷・仕入れる際は、乾燥・調製・貯蔵や温度管理等により、実需者の求めに応じた品質・量を供給する。
 - ・GAPやHACCPの推進により品質・衛生管理を行い、実需者が求める品質を確保する。

エ 取組内容及び活用するメニュー

- リース方式による農業機械等の導入
 - ・作付再開や規模拡大により無菌包装米飯用の米を生産拡大するため、又は、実需者と長期契約を結び有機栽培米等を生産拡大するために必要な農業機械等の導入
- 生産資材支援
 - ・作付再開や規模拡大により無菌包装米飯用の米を生産拡大するため、又は、実需者と長期契約を結び有機栽培米等を生産拡大するために必要な生産資材の導入
- 高収益作物の導入・新たな栽培技術及びICTの導入に向けた実証
 - ・作付再開や規模拡大により無菌包装米飯用の米を生産拡大するためや実需者と長期契約を結び有機栽培米等を生産拡大するための生産技術、労力不足を解消するためのICT等を活用したスマート農業の導入に向けた実証
 - ・無菌包装米飯用の米や有機栽培米等の生産を核とし、経営安定のために他作物を導入する経営モデル策定のための機械化体系の実証
- 人材育成・確保
 - ・新たな技術の導入や技術の高度化のための専門家等による研修等の実施
 - ・新規参入者等の担い手の受入確保に向けた意向調査、情報発信、相談会、マッチング等の実施
 - ・労働力の確保・調整及び労働力の受入体制整備のための調査や情報発信等の実施

- 本事業メニューにない取組
 - ・農地中間管理事業を活用した中心経営体への農地集積、簡易な基盤整備の実施
 - ・GAPやHACCPの取得、土づくりの取組の推進等

オ 本計画に位置づける拠点施設

拠点施設	施設の概要
農産物処理加工施設	○ 集荷、低温保管、搗精、無菌包装米飯製造等
穀類乾燥調製貯蔵施設	○ 集荷、乾燥、調製、貯蔵等
共同育苗施設	○ 床土・種もみ処理、播種、出芽、緑化・硬化、資材保管等

カ 役割分担

構成員	役割
農業協同組合 全国農業協同組合連合会 福島県本部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既存農業者への情報提供や新規参入者のサポート ○ 安定的な取引に向けた実需者との協議や契約締結 ○ 実需が求める品種の作付推進 ○ 拠点施設となる育苗施設や集出荷・乾燥・貯蔵施設等の整備又は運営
福島県農業協同組合中央会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業協同組合の活動支援及びJAグループ内の調整
拠点事業者 (米飯加工業者・卸業者)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業者への魅力ある購入条件の提供 ○ 営農再開を見据え、求める品種、品質や量の提示 ○ 米の事前契約、複数年契約等の安定的な取引 ○ 加工等施設の整備・運営及び加工品の販路確保
市町村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既存農業者への情報提供や新規参入者のサポート ○ 市町村内の農業者等の事業活用支援（推進事業の要望・事業実施計画の取りまとめ） ○ 人・農地プランの策定、農地中間管理事業の活用による担い手確保と農地集積 ○ 簡易な農地の区画拡大等の小規模基盤整備（他事業を活用）の実施 ○ 地域外からの参入者への農業以外の支援制度の情報提供（住居確保等）
福島相双復興推進機構	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実需者と農業者とのマッチング支援 ○ 農地と担い手のマッチング支援 ○ 対象品目及び加工品の産出額の把握（協議会事務局として）
うつくしまふくしま農業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内農業法人に対する被災12市町村への農業参入の情

法人協会	報提供
福島県農業振興公社	○ 農地中間管理事業による担い手確保と農地集積 ○ 就農支援センターによる就農促進支援
福島イノベーション・コースト構想推進機構	○ 企業等の農業参入支援

(県に求める役割)

- 農業者や食品事業者等事業活用支援
- 生産技術等の指導・助言
- 人・農地プランの策定支援
- 農地中間管理事業を活用した農地集積
- 地域外からの参入者の探索及びマッチングと就労者の受入体制の調査

(2) 園芸品目

ア 対象品目

- 野菜：たまねぎ、ブロッコリー、ねぎ、加工用トマト等
- かんしょ
- 花き：枝物類、トルコギキョウ、きく、宿根かすみそう、りんどう等

イ 目指す産地の姿

【野菜】

- 消費者の食生活の変化等を背景に需要が拡大しているが国内の他の産地が対応できていない加工・業務用野菜等の分野をターゲットとして、地域の気候条件、営農体系を踏まえた品目を実需者等の求めに応じて供給する産地を目指す。
- 産地化に当たっては、加工業者等の誘致等による産地内での加工・貯蔵や点在する経営体からの効率的な集出荷体制の構築等に加え、加工に適した栽培技術の導入、ロットの安定確保など、実需者等の求める形態・時期に応じて周年供給が可能な競争力と収益性の高い産地の形成を目指す。
- GAPやHACCPの実践を拡大し、安全・安心な農産物を生産し、信頼される産地を目指す。

【かんしょ】

- 焼き芋、蒸切り干し用、菓子用等をはじめとした商品の需要が拡大傾向にある中で、原料となる加工用かんしょをターゲットとして、実需者等のニーズや用途に応じた品種の導入、病害発生防止に向けた高品質苗の供給、土づくりや栽培管理の徹底による収量確保、鮮度保持技術を取り入れた貯蔵等により計画的に実需者に供給することができる産地を目指す。
- 実需者等と連携し、苗の安定供給や鮮度保持技術を導入した貯蔵等による安定出荷

や効率的な集出荷・流通の体制を整備し競争力の高い産地育成を目指す。

- G A PやH A C C Pの実践を拡大し、安全・安心な農産物を生産し、信頼される産地を目指す。

【花き】

- アレンジメントやいけばなに使用され、近年、国内の単価も右肩上がりである枝物類について、実需者等の求めに応じた品目・品種をターゲットに、広域に点在する花き生産者に対応した集出荷拠点から市場までの共同輸送等の流通体制を構築することにより品質保持と低コスト化を図り、国内市場に供給する収益性の高い産地を目指す。
- 産地化に当たっては、栽培技術の向上を図るとともに、既に栽培実績のある夏秋期の品目と枝物類を組み合わせた花きの周年出荷を推進し、収益性の高い産地化を目指す。

ウ 拠点となる事業者の機能

- 生産拡大機能
 - ・実需者との有利な販売条件を形成し、農業者にとって魅力ある購入条件を提供する。
 - ・生産に必要な種苗の供給、市町村を越えた集荷や仕入れ等により、農業者が生産に取り組みやすい状況を提供する。
 - ・実需者が求める品種・品質や量を農業者へ提示する。
 - ・農産物の複数年契約などにより、農業者と安定的な取引を行う。
- 実需者ニーズ対応機能
 - ・マーケットのニーズに即した形態への加工、貯蔵、荷姿等により、販売価値を高め産地の形成につなげる。
 - ・広域的に集荷・仕入れする際は乾燥・調製・貯蔵や温度管理等により、実需者の求めに応じた品質・量を供給する。
 - ・G A PやH A C C Pの推進により品質・衛生管理を行い、実需者が求める品質を確保する。

エ 取組内容及び活用メニュー

- リース方式による農業機械等の導入
 - ・実需者や市場等のニーズに対応した品目、品種等による作付再開並びに規模拡大や品目転換に必要な農業機械及び園芸用施設の導入
- 生産資材支援
 - ・実需者や市場等のニーズに対応した品目、品種等による作付再開及び規模拡大や品目転換に必要な生産資材の導入
- 高収益作物の導入・新たな栽培技術及びI C Tの導入に向けた実証
 - ・拠点となる施設又は事業者へ供給される農産物の導入に際しては、品種特性に応じ

<p>た新たな栽培技術の導入、産地を担う経営モデルの策定に向けた作物の組合せや農業機械・作業体系の最適化、大規模経営体の育成に向けたICTの導入、安定的な供給体制の構築に向けた生育予測システムの導入等の課題に対応するための先進事例の調査、実証、検討会・研修会の開催、マニュアルの作成等</p> <p>○ 規格の統一や効率的な出荷体制の構築に向けた検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実需者のニーズや効率的な集出荷体制に適した栽培収穫技術と出荷形態等の規格の統一、鮮度保持のための品質管理又は温度管理技術の導入、低コスト化に向けた共同集荷・配送システム又は包装資材・統一パレットの活用等の導入等の課題に対応するための先進事例等の調査、栽培実証、出荷体制の構築に向けた検証、検討会・研修会の開催、マニュアルの作成等 <p>○ 人材の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実需者ニーズに即した品目・品種及び栽培・出荷方法の導入並びに他品目との組み合わせによる経営の安定化、経営規模拡大等の生産現場での課題解決に向けた専門家の生産現場への派遣、生産者に対する現地研修等の実施 ・担い手や労働力の確保のため、他地域からの新規参入等を含めた農業者の受入確保に向けた意向調査やマッチング、労働力の受入体制の整備のための調査等の実施 <p>○ 本事業メニューにない取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規栽培者の農地の選定、効率的な大規模経営を行うための農地利用調整や農地中間管理事業を活用した農地の集積 ・新たな農地に作付けを行う場合の土づくりや排水対策等の必要な対策 ・地域外の担い手や労働力の確保に係る取組や、地域外からの参入に必要となる住居の確保や農地の確保 ・GAPやHACCPの取得推進等
--

オ 本計画に位置づける拠点施設

拠点施設	施設の概要
集出荷貯蔵施設	○ 荷受、選別、調製、計量、出荷・包装、予冷、乾燥、鮮度保持、貯蔵、残渣等の処理等
農産物処理加工施設	○ 加工、冷凍加工、荷受、選別、調製、計量、出荷・包装、予冷、乾燥、鮮度保持、貯蔵、残渣等の処理等
共同育苗施設 種子種苗生産関連施設	○ 種子種苗生産供給、種子種苗処理調製等

カ 役割分担

構成員	役割
農業協同組合 全国農業協同組合福島県本部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既存農業者への情報提供、新規参入者のサポート ○ 安定的な取引に向けた実需者との協議、契約締結 ○ 実需者が求める品目の作付け推進

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 拠点施設となる育苗施設や集出荷・乾燥・貯蔵施設等の整備又は運営 ○ 対象品目の生産・出荷に必要な種苗や資材等の確保と農業者への提供
福島県農業協同組合中央会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業協同組合の活動支援及びJ Aグループ内の調整
拠点事業者 (食品事業者等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業者への魅力ある購入条件の提供 ○ 営農再開を見据え、求める品種や品質、量の提示 ○ 農産物の複数年契約など安定的な取引 ○ 拠点施設となる加工等施設の整備・運営及び加工品の販路確保
市町村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既存農業者への情報提供 ○ 市町村内の農業者等の事業活用支援（推進事業の要望・事業実施計画の取りまとめ） ○ 人・農地プランの策定、農地中間管理事業の活用による担い手確保と農地集積 ○ 農地の排水対策等の小規模基盤整備（他事業を活用）の実施 ○ 地域外からの参入者への農業以外の支援制度の情報提供（住居確保等）
福島相双復興推進機構	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実需者と農業者とのマッチング支援 ○ 農地と担い手のマッチング支援 ○ 対象品目及び加工品の産出額の把握
うつくしまふくしま農業法人協会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内農業法人に対する被災12市町村への農業参入の情報提供
福島県農業振興公社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農地中間管理事業による担い手確保と農地集積 ○ 就農支援センターによる就農促進支援
福島イノベーション・コースト構想推進機構	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業等の農業参入支援

(県に求める役割)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業者や食品事業者等の事業活用支援 ○ 対象品目の作付推進 ○ 生産技術の指導・助言 ○ 人・農地プランの策定支援 ○ 農地中間管理事業を活用した農地集積 ○ 地域外からの参入者の探索及びマッチング、就労者の受け入れ体制の調査
--

(3) 畜産

ア 対象畜種等

- 乳用牛、肉用繁殖雌牛等

イ 目指す産地の姿

- 酪農、肉用牛については、企業等の新たな担い手の参入、ICTや機械等の導入による省力化や高能力牛（受精卵を含む）の導入による遺伝的改良に加えて、大規模な酪農牧場や肉用牛繁殖施設等を整備し生産基盤の強化を図り、生乳生産や被災12市町村内への素牛の供給拠点とすることにより、大規模牧場を核とした肉用牛の地域内一貫生産体制を構築した産地を目指す。
- 乳用牛や肉用牛の増頭等を進めるためには、自給飼料の確保とその生産コストの低減等を進めることが必要不可欠である。飼料生産を担うコントラクターの育成、飼料生産・収穫調製機械や優良品種の導入を推進することで、被災12市町村内における自給飼料の安定的かつ効率的な供給体制を構築するとともに、酪農牧場や肉用牛繁殖施設など拠点施設で発生する家畜排せつ物については、良質堆肥として地域内の農地へ還元する産地を目指す。
- 畜産GAPや農場HACCPの導入を推進し、信頼される畜産産地の育成を目指す。

ウ 拠点となる事業者の機能

- 種畜供給等機能
(種畜供給機能)
 - ・被災12市町村で畜産を再開・規模拡大する畜産農業者に対して、遺伝的資質の優れた素牛等の高品質な種畜等を供給する。
- (飼料生産・供給機能)
 - ・被災12市町村で畜産を再開・規模拡大する畜産農業者に対して高品質な飼料を生産・供給する。
- (堆肥生産・供給機能)
 - ・被災12市町村の農業者に対して高品質な堆肥を生産・供給する。

エ 取組内容及び活用するメニュー

- リース方式による農業機械等の導入
 - ・被災12市町村で畜産を再開・規模拡大する畜産農業者に対して高品質な種畜等を供給するために必要となる家畜の飼養管理、自給飼料生産、家畜排せつ物等の有効活用を行うための機械導入
- 生産資材支援
 - ・自給飼料の生産拡大に必要な種子や肥料、土壌改良資材等の導入
- 家畜の導入（受精卵含む）
 - ・被災12市町村で畜産を再開・規模拡大する畜産農業者に対して、産肉性や泌乳量等の遺伝的資質に優れた高品質な種畜等を供給するために必要とする乳用初妊牛や肉用繁殖雌牛等の家畜の導入

○ 高収益作物の導入・新たな栽培技術及びICTの導入に向けた実証
・ ICTを活用した効率的な飼養管理技術等の導入に向けた実証
○ 耕畜連携・コントラクターの育成支援
・ 耕畜連携体制の構築に向けた検討会の開催、堆肥の分析、利用拡大のための実証、耕種農家と畜産農家のマッチング用データベース作成
・ 飼料生産を担うコントラクターの育成のための技能研修等の実施
○ 人材確保・育成
・ 新規参入者等の担い手の受入確保に向けた意向調査、情報発信、相談会、マッチング等の実施
・ 労働力確保調整及び労働力の受入体制整備のための調査・情報発信等の実施
・ 生産に必要な知識・技術や経営能力の習得に向けた研修会の開催

オ 本計画に位置づける拠点施設

拠点施設	施設の概要
家畜飼養管理施設	○ 種畜等の供給 ・ 酪農施設（搾乳牛舎、搾乳施設、育成牛舎等） ・ 肉用牛施設（繁殖雌牛用牛舎、分娩用牛舎、子牛哺育・育成牛舎、肥育牛舎等）
家畜排せつ物処理施設	○ 良質堆肥の生産・供給 ・ 堆肥舎、堆肥発酵施設、乾燥施設、堆肥調整保管施設、副資材保管庫、脱臭施設等
自給飼料関連施設	○ 自給飼料の生産・供給 ・ 自給飼料調製・保管施設、飼料原料保管施設、混合飼料等調製・保管・供給施設等

カ 役割分担

構成員	役割
農業協同組合	○ 畜産の生産指導・助言 ○ 被災 12 市町村の農業者が生産した初妊牛や肉用子牛等の家畜の販売 ○ 被災 12 市町村の農業者が生産した生乳の販売、飼料の供給 ○ 被災 12 市町村の農業者への優良な種畜の供給 ○ 堆肥の流通に向けた耕種農家とのマッチング
全国農業協同組合連合会 福島県本部	○ 畜産の生産指導・助言 ○ 被災 12 市町村の農業者が生産した初妊牛や肉用子牛等の家畜の販売 ○ 被災 12 市町村の農業者が生産した生乳の販売や飼料の

	<p>供給</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 被災 12 市町村の農業者への優良な種畜の供給 ○ 和牛の登録業務 ○ 堆肥の流通に向けた耕種農家とのマッチング ○ コントラクターの育成支援
福島県農業協同組合中央会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業協同組合の指導・調整
福島県酪農業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ○ 酪農の生産指導・助言 ○ 被災 12 市町村の農業者が生産した初妊牛・子牛等の家畜の販売 ○ 被災 12 市町村の農業者が生産した生乳の販売や飼料の供給 ○ 被災 12 市町村の農業者への優良な種畜の供給 ○ 堆肥の流通に向けた耕種農家とのマッチング ○ コントラクターの育成支援
市町村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既存農業者への情報提供や新規参入者のサポート ○ 市町村内の農業者等の事業活用支援（事業の要望・事業実施計画の取りまとめ） ○ 堆肥の流通に向けた耕種農家とのマッチング ○ 人・農地プランの策定、農地中間管理事業の活用による担い手確保と農地集積農地の利用集積 ○ 地域外からの企業や参入者への農業以外の支援制度の情報提供（住居確保等）
福島相双復興推進機構	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農地と担い手のマッチング支援 ○ 対象品目及び加工品の産出額の把握（協議会事務局として）
うつくしまふくしま農業法人協会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内農業法人への情報提供
福島県農業振興公社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農地中間管理事業による担い手確保と農地集積 ○ 就農支援センターによる就農促進支援
福島イノベーション・コースト構想推進機構	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業等の農業参入支援

(県に求める役割)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 畜産の生産の指導・助言 ○ 事業の活用推進 ○ コントラクターの育成支援 ○ 良質堆肥の流通促進・マッチング支援

- 農地中間管理事業を活用した農地集積
- 地域外からの参入者の探索及びマッチング、就労者の受け入れ体制の調査